

## 2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月12日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名  
 コード番号 8886 URL <https://www.woodfriends.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 知秀  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 村山 淳二 TEL 052-249-3504  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期第2四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	16,919	△19.2	284	△45.8	121	△67.4	54	△76.5
2020年5月期第2四半期	20,936	34.2	524	6.0	373	0.7	233	12.5

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 52百万円 (△79.9%) 2020年5月期第2四半期 263百万円 (13.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	37.68	—
2020年5月期第2四半期	160.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第2四半期	25,934	6,415	23.1	4,115.54
2020年5月期	27,434	6,392	21.8	4,097.80

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 6,001百万円 2020年5月期 5,975百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年5月期	—	0.00			
2021年5月期 (予想)			—	105.00	105.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	32.9	1,340	113.6	1,000	218.4	630	427.0	432.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期2Q	1,480,000株	2020年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2021年5月期2Q	21,832株	2020年5月期	21,778株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期2Q	1,458,196株	2020年5月期2Q	1,458,222株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年11月30日)の概況は、以下のとおりであります。

#### ① 当地域の不動産業界

愛知県の地価調査では、平均変動率が住宅地は9年ぶり0.7%の下落、商業地では8年ぶりの1.1%の下落となりました。リニア中央新幹線の開業延期が懸念されるものの、経済影響の期待感強く、名古屋駅及び栄駅周辺の開発が進んでおります。また、分譲住宅の新設住宅着工戸数及び市場在庫は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少してきているものの、依然として高い在庫水準であり、激しい競争は継続すると考えております。

#### ② 当社の取り組み

- ・商品開発は、当社の岐阜工場を中心とする工業化インフラを活用した独自建材を中心とした開発に注力し、個と街並みを意識したデザイン性の向上に取り組みました。他社と差別化された商品を評価いただくことにより、利益率の改善に繋げているものと考えております。
- ・営業上は、工場見学会をネット上で行う等、WEBメディアを利用したネットでの情報発信を強化しております。当社及び当社の住宅商品を広くネット上で認知いただくことによりオンライン商談を促進する等して、お客様との接点を増やし、販売戸数を増加させてまいります。
- ・商品住宅として更に工業化と規格化を推進することにより事業工期を短縮するとともに、岐阜工場を物流拠点とした配送コストの削減等、品質向上とコストダウンを徹底いたします。
- ・岐阜県大垣市に工場建屋を取得いたしました。岐阜第3工場として資材供給体制の強化を図るとともに、外部への販売を見据え、地域産材を活用した商品開発を行ってまいります。
- ・「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」の一部ホールにナイター照明設備を設置いたしました。冬の時期でもより多くの方に楽しんでいただける環境を整え、顧客満足の向上に一層努めてまいります。
- ・不動産特定共同事業のクラウドファンディングサイト「信長ファンディング」を開設し、1号商品の募集を開始いたしました。多数のお申し込みをいただき応募上限に達し、2021年1月より運用を開始しております。

#### ③ 当第2四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第2四半期実績	16,919百万円	284百万円	121百万円	54百万円
前年同期比	19.2%減	45.8%減	67.4%減	76.5%減

	販売戸数	内訳	
		戸建住宅	集合住宅
当第2四半期実績	440戸	440戸	—
前年同期実績	531戸	515戸	1棟16戸
前期実績(通期)	961戸	945戸	1棟16戸

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	15,852百万円	462百万円	販売戸数が減少し、売上高及び利益が減少。
前年同期比	14.0%減	30.0%減	

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	914百万円	160百万円	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言を受け、「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」を臨時休業したことにより、売上高及び利益が減少。
前年同期比	21.3%減	13.7%減	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	164百万円	7百万円	収益型不動産の販売がなかったことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大により休業した商業施設等の設備管理収入が減少したことで、売上高及び利益が減少。
前年同期比	81.1%減	29.6%減	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	11百万円	5百万円	宅地販売が減少し、売上高が減少。
前年同期比	97.7%減	143.8%増	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

a 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較し1,499百万円減少し、25,934百万円となりました。

b 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、借入金の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較し1,523百万円減少し、19,518百万円となりました。

c 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較し23百万円増加し、6,415百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が2,973百万円減少(前年同期比37.0%増)したこと等により、3,457百万円の収入(前年同期比35.9%増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、312百万円の支出(前年同期比49.7%減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による支出等により、1,789百万円の支出(前年同期比212.4%増)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は1,355百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は4,516百万円(前年同期比14.1%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月15日付の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,169,359	4,525,318
完成工事未収入金	44,367	11,613
売掛金	279,798	274,940
販売用不動産	9,644,488	7,923,726
仕掛販売用不動産	7,189,997	5,563,396
商品及び製品	305,904	316,281
未成工事支出金	1,415,168	1,695,361
仕掛品	153,194	147,098
原材料	116,189	205,701
その他	445,632	478,064
流動資産合計	22,764,099	21,141,501
固定資産		
有形固定資産	3,951,408	4,067,255
無形固定資産	125,971	113,694
投資その他の資産	592,831	612,331
固定資産合計	4,670,211	4,793,281
資産合計	27,434,310	25,934,782
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	1,534,628	1,612,237
買掛金	283,903	466,963
1年内償還予定の社債	214,000	296,000
短期借入金	11,927,222	9,345,447
1年内返済予定の長期借入金	1,702,612	1,694,226
未払法人税等	73,144	38,012
賞与引当金	112,712	8,983
完成工事補償引当金	121,329	116,199
その他	640,035	774,807
流動負債合計	16,609,588	14,352,878
固定負債		
社債	404,000	991,000
長期借入金	2,717,051	2,909,593
退職給付に係る負債	2,691	3,541
役員退職慰労引当金	164,601	155,256
資産除去債務	30,588	30,692
その他	1,113,624	1,076,025
固定負債合計	4,432,556	5,166,109
負債合計	21,042,145	19,518,987

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	5,453,845	5,479,628
自己株式	△41,762	△41,871
株主資本合計	5,976,165	6,001,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△669	△686
その他の包括利益累計額合計	△669	△686
非支配株主持分	416,670	414,643
純資産合計	6,392,165	6,415,794
負債純資産合計	27,434,310	25,934,782



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
売上高	20,936,451	16,919,791
売上原価	18,575,121	14,902,724
売上総利益	2,361,329	2,017,066
販売費及び一般管理費	1,837,061	1,732,941
営業利益	524,268	284,125
営業外収益		
受取利息	1,083	780
受取手数料	10,727	8,657
補助金収入	6,648	—
助成金収入	—	8,179
その他	13,064	12,439
営業外収益合計	31,523	30,057
営業外費用		
支払利息	162,668	154,689
その他	19,995	37,753
営業外費用合計	182,663	192,443
経常利益	373,128	121,738
特別利益		
固定資産売却益	—	299
助成金収入	—	16,882
特別利益合計	—	17,182
特別損失		
固定資産除却損	536	5,184
臨時休業による損失	—	72,790
特別損失合計	536	77,975
税金等調整前四半期純利益	372,592	60,945
法人税等	109,504	8,026
四半期純利益	263,087	52,919
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	29,716	△2,027
親会社株主に帰属する四半期純利益	233,371	54,947

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	263,087	52,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	245	△16
その他の包括利益合計	245	△16
四半期包括利益	263,333	52,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,617	54,930
非支配株主に係る四半期包括利益	29,716	△2,027

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	372,592	60,945
減価償却費	248,128	244,116
受取利息及び受取配当金	△1,144	△830
支払利息	162,668	154,689
売上債権の増減額 (△は増加)	49,196	37,612
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,170,034	2,973,376
仕入債務の増減額 (△は減少)	△377,784	260,669
その他	115,222	△153,808
小計	2,738,911	3,576,772
利息及び配当金の受取額	1,144	830
補助金の受取額	6,648	—
助成金の受取額	—	25,061
利息の支払額	△159,711	△154,051
法人税等の還付額	—	58,728
法人税等の支払額	△43,483	△49,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,543,510	3,457,708
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△485,935	△300,054
無形固定資産の取得による支出	△43,865	△7,656
その他	△91,259	△4,719
投資活動によるキャッシュ・フロー	△621,060	△312,430
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	10,044,214	6,774,211
短期借入金の返済による支出	△9,937,978	△9,355,986
長期借入れによる収入	1,886,000	1,020,000
長期借入金の返済による支出	△2,248,417	△835,843
社債の発行による収入	—	775,000
社債の償還による支出	△132,000	△131,000
自己株式の取得による支出	—	△109
リース債務の返済による支出	△46,572	△6,898
配当金の支払額	△138,199	△29,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△572,953	△1,789,820
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,349,495	1,355,458
現金及び現金同等物の期首残高	3,911,282	3,161,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,260,778	4,516,515

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)

会計上の見積りにあたっては、HOTELWOOD高山については、2021年5月期は一定の売り上げ減少があるものの、住宅事業やゴルフ場等への影響は限定的であると仮定し、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の判定を行っております。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、会計上の見積りの前提が大きく乖離する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	18,442,957	1,161,380	839,838	492,274	20,936,451	—	20,936,451
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	694	32,250	5,944	38,888	△38,888	—
計	18,442,957	1,162,075	872,088	498,218	20,975,339	△38,888	20,936,451
セグメント利益	661,281	186,500	10,101	2,131	860,015	△335,746	524,268

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△335,746千円には、セグメント間取引消去12,628千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△348,375千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	15,852,881	914,037	141,568	11,303	16,919,791	—	16,919,791
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	353	23,290	—	23,643	△23,643	—
計	15,852,881	914,390	164,859	11,303	16,943,435	△23,643	16,919,791
セグメント利益	462,665	160,869	7,116	5,195	635,848	△351,723	284,125

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△351,723千円には、セグメント間取引消去10,911千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△362,635千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。